

# まちのわだい



## プロの技に学ぶ

### 〜第2回高校生交流会 ユースセミナー〜

高校生同士の交流と社会勉強の一環として2月2日、大山ロイヤルホテルでユースセミナーが行われ、7つの高校から14名が参加しました。このユースセミナーは、伯耆町の高校生を中心としたユースプロジェクト実行委員会が、学校では学べないことを自分たちの視点で見つけ、計画、実施しています。

今回は、大山ロイヤルホテルの中国料理長から中華料理の作り方や中華料理について学び、「女子力・男子力アップ」を狙いました。

参加した高校生は、料理長の包丁さばきや流れるような手の動きを間近で見、プロの技に触れ感動していました。中にはメモを取りながら真剣に話を聞き、家庭でもやってみようとはりきっている高校生も見られました。



参加した高校生たち



中国料理長の指導を熱心に聞く高校生

## 子どもたちの育成は地域の力で

### 〜青少年育成伯耆町民大会〜

青少年健全育成のため、学校・家庭・地域での取り組みが一層充実することを願って、1月25日、伯耆町農村環境改善センターで、青少年育成伯耆町民大会が開催されました。

はじめに、第1回伯耆町「家庭の日」標語募集で入賞された方々に、青少年育成伯耆町民会議副会長の伊藤浩教育委員長から賞状と副賞が手渡されました。この標語は、家庭の大切さや家族のコミュニケーションを深めるきっかけとして、今年度から青少年育成伯耆町民会議が募集しました。入賞された標語は、今後、家庭教育に関する各種啓発に活用されます。(本誌P16に掲載)

続いて「神楽にみる地域の教育力」と題して、広島県の山王子子ども神楽クラブ代表の平田俊文さんの講演が行われました。平田さんは、「子どもたちへの指導の基盤には礼儀がある」「親、子ども、指導者の関わりが一方的なものではなく、バランス良く正三角形になるように活動することが大切」と話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



「家庭の日」標語に入賞した方々



インタビューに答える平田さん(左)

## 永年の功勞をたたえ

### 〜定例表彰式・叙勲受章祝賀式〜

公共の利益や福祉の増進に貢献された方などを表彰する定例表彰式を1月28日、農村環境改善センターで開催しました。引き続き、平成25年度叙勲受章祝賀式を開催し、受章者に町から記念品を贈呈しました。

定例表彰受賞者および叙勲受章者の皆さま、おめでとうございます。

#### 伯耆町定例表彰者(敬称略)

功勞表彰

牛尾 勝尚(民生児童委員)

#### 叙勲受章者(敬称略)

瑞宝双光章

圓山 湧一(教育功勞)

瑞宝単光賞

中曾 頼昭(矯正教育功勞)



表彰状を受取る牛尾さん



牛尾さん(中央左)と圓山さん(中央右)

## 互いの伝統文化に触れる

### 〜読谷村・伯耆町交流会〜

伯耆町が13年前から交流している沖縄県の読谷村渡慶次地区の子ども会が、2月7日から3日間伯耆町を訪れ、町民と親睦を深めました。

7日の夕方、伯耆町にやってきた14人の子どもたちは、町内の8つの家庭に分かれて民泊。8日は、ほとんどの子どもたちにとって生まれて初めてとなるスキーを体験し、9日は、鬼の館で文化交流会を行いました。文化交流会では、鬼面太鼓振興会が演奏を披露したほか、以前から渡慶次地区との親交がある荘集落の女性グループが傘踊りなどを披露しました。また、渡慶次地区の子どもたちも、この日のために練習を重ねたという沖縄の伝統芸能「エイサー」を披露し、お互いの地域の文化に触れ合いました。

今年の1月には伯耆町と読谷村の間で教育協定も結ばれ、両町村の親交は、今後もさらに深まっていくと期待されます。



「エイサー」を披露する読谷村の子どもたち



民泊ではカニ鍋でおもてなし